



所内 第13回 写真コンクール 参加作品 「流紋岩の流動構造」 地質部 河田清雄

### 流紋岩の流動構造

岩石が風化すると その表面はほんのわずかの鉱物組成の差や 結晶度のちがいで大きく強調される。そして 抵抗の強い部分が浮きぼりされて天然のレリーフを生じる。写真は高山線沿いの飛騨川の川床に露出する流紋岩である。写真の左下方には甌穴（ポットホール）がみえる。白い縞は石英・長石からなるやや粗粒な部分で 黒い縞は緑泥石化した有色鉱物と細粒の石英・長石で構成されている。溶岩流などでは 微晶や斑晶がマグマの流動方向に配列して 線状 レンズ状 縞状の流理構造（Flow structure）をつくる。流紋岩のようなマグマの粘性度の高い酸性岩では 流動が平滑におこなわれず 波をうったり 複雑な模様を示すことがある。写真はその1例である。構造が急斜しているので 周囲の地質関係からみて 貫入岩体の流動構造（Fluxion structure）の一種と考えたい。

### ～地質調査所の出版物～

- ・地質調査所報告 第219号  
高橋 稠：地下水地域調査にみられる水温の総括的研究
- ・地質調査所報告 第220号  
斉藤正雄：北海道の鉄資源
- ・地質調査所報告 第221号  
Takeo Bamba & Toshiaki Sawa：Spilite and Associated Manganiferous Hematite Deposits of the Tokoro District, Hokkaido, Japan.

地質ニュース	第158号	10月号
昭和42年10月25日	定価	¥220 円12
編集	発行	
集	工業技術院	地質調査所
発行人	林 久	雄
発行所	株式会社	実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (251) 7173・9387	
	振替口座	東京32466
総発売元	政府刊行物販売所	
	東京都千代田区大手町1の5	
	Tel. (211) 5 5 7 0	
印刷所	共同印刷株式会社	